

脳卒中防止キャンペーン

深刻な脳卒中の後遺症

寝たきりになる人の**およそ4割**が、脳卒中の後遺症によるものです。脳卒中で死亡する人は減っていますが、**およそ8割**の人が何らかの後遺症で日常生活に不自由を感じていると言われています。

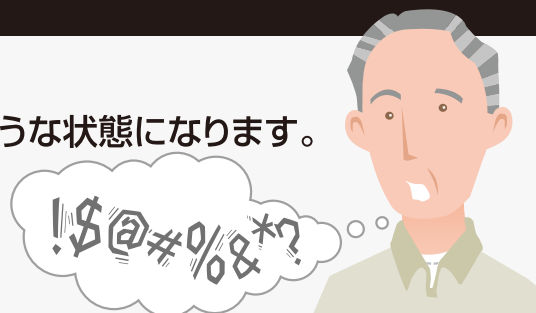
体のまひ

手足が動かなくなった後、そのままにしておくと関節が固くなります。リハビリで、関節が固くならないようにしたり、まひを回復させたりします。



言語障害

ろれつが回らない、思ったように言葉が出ない、意味の通じない文章になってしまう、といったような状態になります。また、相手の言う内容を理解しにくくなることもあります。特別なりハビリで言葉を取り戻す訓練をします。



うつ状態

脳卒中による脳の障害や後遺症の苦しみが原因で気分が落ち込み、やる気がなくなってうつ状態になる人もいます。また、介護している家族が、介護の疲れからうつ状態になることもあります。周囲が早く気づいて、治療を受けることが大切です。



回復の効果には個人差がありますが、早い段階で適切な訓練を始めることがポイントです。

回復には早くから適切な訓練を

